

# おやま 市議会だより



第307号

## ●主な内容

### 令和4年度一般会計予算648億5千万円を可決

議案とその内容……………②	陳情……………⑥
議員提出議案……………②・③	人事案件……………⑥
審議結果……………③・④	委員会報告……………⑥～⑪
一般会計予算款別一覧表……………④	市政一般質問……………⑪～⑮
一般会計予算歳入款別推移……………⑤	議会日誌……………⑮
一般会計予算歳出性質別推移……………⑤	次回定例会の予定……………⑮

令和4年5月1日号



春爛漫の小山御殿広場（撮影：Photo Art きらら 藤原嘉子氏）

**小山市議会**

編集 議会広報委員会

# 2月

## 定例会のあらまし

令和4年2月17日～3月17日

令和4年第1回(2月)定例会は、2月17日から3月17日まで29日間の会期で開かれました。

本定例会では、令和4年度一般会計・各特別会計予算案をはじめ、各会計の令和3年度補正予算案、条例の一部改正案、人事案件および陳情などについて審議しました。2月17日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案34件、報告2件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件2件を可決しました。2月21日、22日、24日および25日は、5人会派および8人の議員が市政に対して一般

質問を行いました。

25日は、上程議案に対する質疑の後、議案および陳情を各委員会へ付託しました。その後、条例の一部改正案1件が追加上程され、委員会へ付託しました。また、3月1日から4日、7日および8日には各委員会が開かれ、議案および陳情を審査しました。3月17日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案33件を可決、陳情1件を継続審査としました。その後、条例の一部改正案1件および議員提出議案2件が追加上程され、提案理由の説明を受けた後、これを可決し、定例会を閉会しました。

### 主な議案

2月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和4年度小山市一般会計予算―予算総額は、前年度比1.4%増の648億5000万円。

主な事業として、協働によるまちづくりと誰もが活躍できる社会・ひとづくりのための、大谷地区中心施設整備事業など。持続可能な行財政運営と広域連携による行政・ひとづくりのための、DX推進事業など。未来を担う次世代の育成と学び・文化を育むひとづくりのための、公

立保育所耐震化・長寿命化事業など。暮らしやすく住み続けた地域の活力を生かしたまちづくりのための、田園環境都市ビジョン策定事業など。魅力ある自然を守り伝統を継承するまちづくりのための、城山(祇園城)公園再整備事業など。人と自然が共生した地球にやさしい暮らしづくりのための、第4次環境基本計画策定事業など。市民が生き生き安全・安心で健康なくらしづくりのための、排水強化対策事業など。

◆令和3年度小山市一般会計補正予算(第8号)―歳入歳出それぞれ12億3837万9千円の増額補正。小山評定ふるさと応

取得財産…電子黒板382台  
購入方法…指名競争入札  
購入金額…1億8810万円  
購入先…富士電機ITソリューション株式会社 北関東支店  
納期…令和4年9月30日

援事業費、住民税非課税世帯への給付金給付事業費、障がい者介護給付費など、補正後の予算総額は756億4804万7千円。

◆財産の取得について―市内小・中・義務教育学校に整備する電子黒板の購入について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により提案するもの。

◆小山市議会議規則の一部改正―女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図る観点から、議員として活動するにあたっての制約要因の解消に資するため本

### 議員提出議案

#### ウクライナ侵攻を非難する決議を可決

定例会最終日、議会運営委員会から「小山市議会議規則の一部改正」が、また、荒井覚議員ほか4名の議員から「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり可決しました。



決議の提案理由を説明する荒井議員

## 令和4年第1回定例会（2月）審議結果

## 議決結果

番 号	件 名	議決結果	
<b>予 算</b>			
議案第1号	令和4年度小山市一般会計予算	原案可決	賛成多数
議案第2号	令和4年度小山市国民健康保険特別会計予算	原案可決	賛成多数
議案第3号	令和4年度小山市介護保険特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第4号	令和4年度小山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第5号	令和4年度小山市病院事業債管理事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第6号	令和4年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第7号	令和4年度小山市栃木県南地方卸売市場特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第8号	令和4年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第9号	令和4年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議案第10号	令和4年度小山市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第11号	令和4年度小山市水道事業会計予算	原案可決	全会一致
議案第12号	令和4年度小山市下水道事業会計予算	原案可決	全会一致
議案第13号	令和3年度小山市一般会計補正予算（第8号）	原案可決	全会一致
議案第14号	令和3年度小山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第15号	令和3年度小山市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第16号	令和3年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第17号	令和3年度小山市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第18号	令和3年度小山市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
<b>条 例</b>			
議案第19号	押印の見直しに伴う関係条例の整備について	原案可決	全会一致
議案第20号	小山市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第21号	小山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第22号	小山市男女共同参画センター条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第23号	小山市消費生活条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第24号	小山市交通指導員設置条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第25号	小山市医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第26号	小山市児童遊園条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第27号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第28号	小山市特別会計条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第29号	小山市手数料条例の一部改正について	原案可決	全会一致

（以下、次ページへ）

会議や委員会への欠席等の事由として、育児、看護、介護等を明文化するとともに、出産について産前・産後期間にも配慮した規定の整備を行うもの。また、行政手続き等において、原則として押印を廃止する政府の政策動向を踏まえ、市議会に対する請願に係る署名押印の見直しを併せて行うもの。

◆ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議―ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、武力による一方的な現状変更であり、ウクライナの主権を侵害する明らかな国際法違反であるとともに、国際秩序を揺るがす行為として断じて容認できない。また、小山市では平成4年に平和都市を宣言し、世界の恒久平和を願っていることから、小山市議会としても、ロシアによるウクライナ侵攻を断固として非難し、ロシアが直ちに戦闘を停止し、軍を即座に完全かつ無条件で撤退することを求めるとともに、全世界が一体となって世界平和の実現に向けて、全力を挙げて取り組むよう強く訴えるもの。

(前ページ続き)

番 号	件 名	議決結果	
議案第30号	小山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第35号	小山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第36号	小山市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
<b>その他の議案</b>			
議案第31号	指定管理者の指定期間の変更について	原案可決	全会一致
議案第32号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第33号	監査委員の選任について	原案同意	全会一致
議案第34号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致
<b>議員提出議案</b>			
議第1号	小山市議会会議規則の一部改正について	原案可決	全会一致
議第2号	ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議の提出について	原案可決	全会一致
<b>陳 情</b>			
陳情第4-1号	陳情書（国連人権委員会1996年のクマラスワミ報告書および米国下院2007年121号決議の撤回要求を求める意見書採択の要請）	継続審査	全会一致

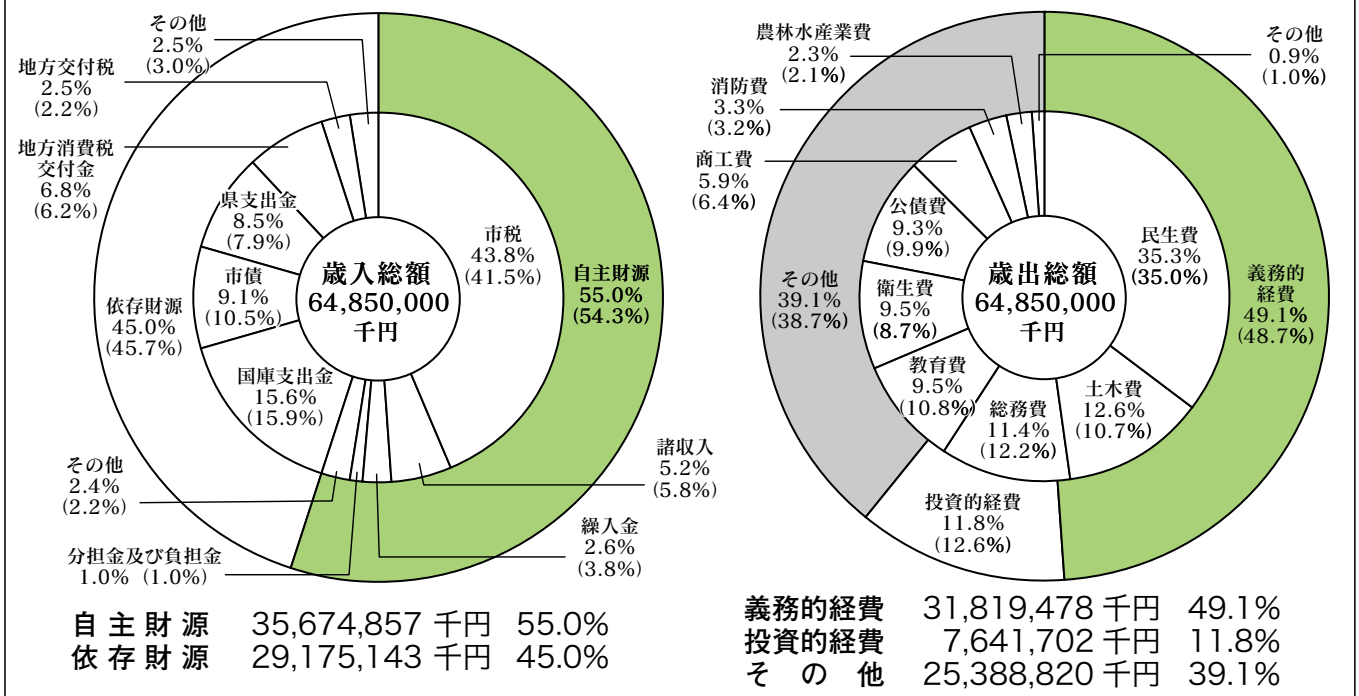
賛否一覧表

議案番号	議決結果	賛成 反対	片山	細野	大平	平野	渡邊	渡邊	嶋田	高橋	土方	佐藤	岡田	橋本	小林	森田	苅部	植村	大木	福田	荒井	篠崎	福田	荒川	山野	大出	安藤	小川	青木	関	塚原	石島	
			照美	大樹	拓史	正敏	一郎	一男	積男	栄	美代	忠博	裕	守行	英恵	晃吉	勉	一	英憲	幸平	寛	佳之	洋一	美代子	孝	ハマ	良子	亘	美智子	良平	俊夫	政己	
議案第1号	原案可決	26 : 1	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	原案可決	26 : 1	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	原案可決	26 : 1	○	○	欠	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○=賛成 ×=反対 欠=欠席  
 ※ 議長（福田 洋一）は採決に加わりません。

令和4年度一般会計予算款別一覧表

( )内は前年度の割合



## ■一般会計予算歳入款別推移

(単位：千円・%)

款	令和4年度		平成29年度		平成24年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
自主財源	35,674,857	55.0	36,012,442	59.2	34,772,863	62.4
市税	28,408,729	43.8	28,108,393	46.2	26,563,036	47.6
分担金及び負担金	651,907	1.0	728,682	1.2	793,022	1.4
使用料及び手数料	403,765	0.6	451,278	0.7	442,633	0.8
財産収入	91,343	0.1	174,898	0.3	65,487	0.1
寄付金	616,005	0.9	70,007	0.1	2,009	0.0
繰入金	1,657,524	2.6	45,131	0.1	99,651	0.2
繰越金	500,000	0.8	800,000	1.3	700,000	1.3
諸収入	3,345,584	5.2	5,634,053	9.3	6,107,025	11.0
依存財源	29,175,143	45.0	24,837,558	40.8	20,997,137	37.6
地方譲与税	568,001	0.9	550,001	0.9	650,001	1.2
利子割交付金	20,000	0.0	40,000	0.1	70,000	0.1
配当割交付金	100,000	0.2	160,000	0.3	50,000	0.1
株式等譲渡所得割交付金	100,000	0.2	150,000	0.3	30,000	0.1
法人事業税交付金	500,000	0.8				
地方消費税交付金	4,400,000	6.8	3,196,000	5.3	1,700,000	3.0
ゴルフ場利用税交付金	23,801	0.0	16,213	0.0	26,806	0.0
自動車取得税交付金			150,000	0.2	180,000	0.3
環境性能割交付金	50,000	0.1				
地方特例交付金	210,000	0.3	140,000	0.2	150,000	0.3
地方交付税	1,650,000	2.5	1,625,000	2.7	1,800,000	3.2
交通安全対策特別交付金	22,000	0.0	30,000	0.0	38,000	0.1
国庫支出金	10,123,974	15.6	8,038,400	13.2	6,982,621	12.5
県支出金	5,494,367	8.5	4,044,244	6.6	3,322,909	6.0
市債	5,913,000	9.1	6,697,700	11.0	5,996,800	10.7
合計	64,850,000	100.0	60,850,000	100.0	55,770,000	100.0

## ■一般会計予算歳出性質別推移

(単位：千円・%)

性質別	令和4年度		平成29年度		平成24年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
義務的経費	31,819,478	49.1	26,602,817	43.7	24,236,262	43.4
人件費	9,964,783	15.4	9,147,744	15.0	9,716,832	17.4
扶助費	15,841,568	24.4	11,495,846	18.9	9,427,069	16.9
公債費	6,013,127	9.3	5,959,227	9.8	5,092,361	9.1
投資的経費	7,641,702	11.8	9,082,942	14.9	8,858,382	15.9
普通建設事業	7,641,700	11.8	9,082,940	14.9	7,588,489	13.6
(補助事業)	3,418,165	5.3	5,083,367	8.3	3,407,526	6.1
(単独事業)	4,223,535	6.5	3,999,573	6.6	4,180,963	7.5
用地取得事業					1,269,888	2.3
災害復旧事業	2	0.0	2	0.0	5	0.0
その他(物件費など)	25,388,820	39.1	25,164,241	41.4	22,675,356	40.7
合計	64,850,000	100.0	60,850,000	100.0	55,770,000	100.0

※人件費(議員報酬、特別職給与、職員給与、各種委員報酬、退職金など)

※扶助費(社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する費用で、各種法令に基づくもののほか、こども医療費助成など市の施策として行うものも含む)

※公債費(市が借り入れた地方債の元利償還金および一時借入金利子の合算額。県からの借入金の返還額およびその利子も含む)

## 陳情

2月定例会では、新たに受理した陳情1件について審議した結果、継続審査としました。(審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください。)

### 新たに受理したもの

陳情1件

●陳情書(国連人権委員会1996年のクマラスワミ報告書および米国下院2007年121号決議の撤回要求を求める意見書採択の要請)

〔提出者〕

小山市西城南7丁目

辻 喜久雄

〈趣旨〉慰安婦問題の根拠と

なっている国連人権委員会1996年のクマラスワミ報告書および米国下院2007年121号決議は、当時の誤った情報を基に作成および決議されているため、その根拠とされる情報を正し、それらの撤回を日本政府から要求することを国に求めるもの。

▽審議結果 継続審査

## 人事案件

◆監査委員の選任について

小山市八幡町1丁目

池村 好道(新任)

昭和28年9月24日生

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

小山市大字鏡

小川 浩(再任)

昭和31年12月31日生

## 委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会では慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

## 総務

▼押印の見直しに伴う関係条例の整備について

問 押印手続きの見直しにより、どのような申請書等が押印廃止になるのか。

答 押印廃止となる申請書等は1996件あり、そのうち1月

## 請願・陳情のしかた

市議会に対しての要望や意見を文書で提出することができます。

紹介議員のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。取り扱いに違いはありません。採択となった請願・陳情については、関係機関に送付します。

当市議会では、年4回の定例会(2・6・9・12月)が開催されており、原則として開会の7日前までに提出されたものを審議しますので、早い時期での提出をお願いいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。(☎0285-22-9463)

### 『請願・陳情の提出書式例』

- ◎あて先(小山市議会議長あて)、提出日、件名、理由を記入してください。
- ◎住所を記入し、必ず署名または記名押印をしてください。署名の場合、押印は必要ありません。
- ◎請願・陳情者が多数の場合は、代表者を決めてください。
- ◎請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要となっています。
- ◎用紙のサイズは、A4版で提出ください。

請願書(陳情書) 令和 年 月 日 小山市議会議長 あて	(件名) _____ (趣旨) _____ (理由) _____ _____ _____ _____
請願書(陳情書) 住所 TEL _____ 氏名 ① 他 名 _____ 紹介議員 氏名 ① _____	

末までに廃止したものが702件、4月1日に見直しをするものが1042件です。具体例としては、小山市公園墓地使用許可申請書や重度心身障がい者医療費助成申請書、こども医療費助成申請書などです。

### ▼小山市男女共同参画センター条例の一部改正について

**問** 男女共同参画センターが旧保健福祉センターに移転するが、移転先の面積、および移転先での男女共同参画の啓発方法は。

**答** 面積については、現在の男女共同参画センターが210㎡、移転先が202㎡であり、ほぼ同等です。移転先での啓発方法については、ロビーへの啓発資料の設置や、大会議室への図書コーナーの設置などを考えています。



男女共同参画センターが移転予定の旧保健福祉センター（中央町2丁目）

### ▼小山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

**問** 消防団員確保の現状は。

**答** 基本団員は、条例定数が654名のところ、現在642名で、98%の充足率です。引き続き、消防団員として常備消防と両輪で災害に対応していただくとともに、消防団協力事業所や消防団のサポート事業等も、積極的に推進していきたいと考えています。

## 総務（陳情）

### ▼陳情書（国連人権委員会1996年のクマラスワミ報告書および米国下院2007年121号決議の撤回要求を求める意見書採択の要請）

**意見** 慰安婦問題にはさまざまな観点があり、この陳情のみで判断することは難しい。陳情者の気持ちをしっかりと酌んだ上で今後どうあるべきかを判断したいので、継続審査としたい。

**意見** 日本の戦後処理の問題であり、日本政府の考え方も示されているため、もっと研究して

から審査したいので、継続審査としたい。

**意見** 国家問題を含むことなので、より慎重に審査すべきであり、意見書案の内容も少し修正が必要と思われる。また、県外における陳情の状況も勉強しなければならぬと思うので、継続審査としたい。

## 民生



### ▼令和4年度小山市病院事業債管理事業特別会計予算

**問** 今回、小山市が貸し付ける7億円で、新小山市市民病院が購入する機器の内容は。

**答** 平成28年1月に、新小山市市民病院が新築移転したときから使用している電子カルテ機器が耐用年数を迎えたため、医療情報システムと併せて更新するものです。

### ▼令和4年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計予算

**問** 合葬式墓地の今後の利用数の見込みは。

**答** 最近の合葬式墓地の人気の高まりにより、当初見込んでいた令和14年度よりも早く、許可

数の上限に達すると想定しています。

### ▼小山市消費生活条例の一部改正について

**問** 小山市消費生活センターの相談体制は。

**答** 現在、小山市消費生活センターの相談員は4名で、水曜日を除く平日午前9時から午後4時までの勤務となり、午後3時まで相談を受け付けています。

### ▼小山市児童遊園条例の一部改正について

**問** 鷺神社児童遊園が廃止されるが、跡地の活用方針は。

**答** 鷺神社児童遊園は史跡となっており、今後、鷺城一体の整備計画の中で活用方針について検討していきます。



廃止される鷺神社児童遊園（大字外城）

## 教育経済



### ▼令和4年度小山市与良川水系 湛水防除事業特別会計予算

**問** 荒川排水機場および塩沢排水機場の工事内容は。

**答** 荒川排水機場は、4年間の事業である外壁塗装工事として南面部分およびゲートの塗装工事を行うものです。また、塩沢排水機場は、避雷針の接地極の改修を行うものです。

### ▼令和4年度小山市テクノパーク 小山南部造成事業特別会計予算

**問** 造成工事終了後の予定は。

**答** 造成工事は令和4年度末に終了予定ですが、それに先立ち予約分譲を開始予定です。予約分譲は、令和4年3月中旬から5月中旬まで受け付けを行い、その後、庁内の企業誘致調査委員会における決定を経て、令和5年度当初に引き渡し予定です。

### ▼特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

**問** 今回設置する鳥獣被害対策実施隊の従事内容および人数は。

**答** 隊員の業務として、イノシシの止め刺しから死体の処分、その後のわな・餌の再設置を想定しています。従事には、わな猟の免許が必要となり、隊員は10名程度と考えています。



市内に仕掛けられたわなにより捕獲されたイノシシ

### ▼指定管理者の指定期間の変更 について（小山市立生涯学習センター）

**要望** 今後、小山市立生涯学習センターの運営方式について検討する際には、以下6点について要望する。①部分直営とするにあたり、指定管理者制度導入時と比較して運営人数や運営費用が膨らむことについての是非を議論すること。②直営化により指定管理者制度導入時と比較して市民サービスの低下につながらないのかを協議すること。③現在、生涯学習センターを利

用されている方々のアンケート結果を踏まえて慎重な検討を行うこと。④小山市指定管理者運営状況評価委員会においてA評価を受けながら、直営に戻す理由を明確化すること。⑤現運営体制に問題があるのであれば、生涯学習課と綿密な連携を図って適正運営を図ることも議論すること。⑥生涯学習懇話会のメンバーについて、公平な立場の方の選任を行うこと。

### ▼財産の取得について（電子黒板）

**問** 今回、382台を取得することにより、全校に電子黒板が配置されるのか。

**答** 既に電子黒板が導入されている学校もあり、今回はそれ以外の学校への導入および学級増に対応するために追加で取得するものです。なお、今回取得することにより、すべての普通教室に電子黒板が導入されます。

**問** 既に導入されている学校における電子黒板の使用状況は。

**答** 使用例として、朝の学級活動の時間に、担任が電子黒板を用いて一日の予定を児童生徒に伝えることや、書写の授業にお

いて毛筆の動かし方の動画を見せること、体育の授業において、児童生徒がマット運動や跳び箱を実践する様子をタブレット端末で動画撮影し、電子黒板に表示させて改善点を見つけるなど、有効に使用されています。



電子黒板（左）

## 建設水道



### ▼令和4年度小山市水道事業会計予算

**問** 水道老朽管の更新状況は。

**答** 令和3年3月末現在、水道管総延長約98.4kmのうち、法定耐用年数40年を超えている管が約98kmあります。鶉島浄水場からの基幹管路の更新は完了し



ており、令和3年度は、若木浄水場からの基幹管路総延長約6・8kmのうち、約1・5kmを更新完了予定であり、残りの約5・3kmについては、令和10年度までに更新予定です。

### ▼令和4年度小山市下水道事業会計予算

**問** 下水道事業として豊穂川に排水機場を整備する理由は。

**答** 建設予定の排水機場は、市街化区域に降った雨水を雨水管に集め、河川に排除するための雨水ポンプ場のため、下水道施設として整備します。

## 予算審査



### ▼令和3年度小山市一般会計補正予算(第8号)

**問** 風しん抗体検査等事業費を減額補正する理由は。また、検査を受けていない対象者への今後の対応は。

**答** 当初は4400件程度の検査を見込んでいましたが、検査を受ける方が少なかったため、約1800人分の事業費を減額するものです。また、検査を受けていない対象者には、再度

クーポン券を送付するとともに、周知啓発に力を入れていきます。

### ▼令和4年度小山市一般会計予算

**問** 固定資産税に対して、新型コロナウイルス感染症対策として実施される特例措置の内容は。

**答** 令和3年度は、地価が上がるすべての土地の固定資産税額を据え置く措置がとられました。令和4年度は、国の通達によると、一度にその税額が上がることを避けるために、影響が大きい商業地等については据え置くとし、それ以外の土地については本来の課税標準額に戻すとされています。なお、税額が据え置かれる商業地等の範囲は、商業を行っている土地のほか、山林、比準土地以外、および一般農地になります。

**問** 地域防災強化事業費に関して、液体ミルクおよび哺乳瓶の備蓄状況は。

**答** 第2次備蓄推進5箇年計画等に基づき、令和4年度は240mlの液体ミルクを96本購入予定です。また、使い捨て哺乳瓶を420本備蓄済みです。なお、液体ミルクは賞味期限を考慮し、

毎年更新しています。



液体ミルク

**問** 敬老祝金支給事業および敬老会補助事業の制度改正により、敬老事業費が令和3年度と比べ減額となっているが、減額した分の使い道は。

**答** 地域ケア体制整備事業を拡大し、緊急通報装置貸与に携帯型端末と駆けつけサービスを追加します。加えて、移送サービス事業を拡大し、令和3年度まで事業の対象外であった要介護認定者を対象に加えます。

**問** 市内の保育士が不足しているため、保育士の確保に積極的に取り組んでもらいたいが、市の考えは。

**答** 新規事業として行う保育補助者雇上強化事業は、現在勤めている保育士の負担軽減と離職防止が期待できることに加え、

保育士資格の取得を目標とする方の雇用が条件となっていることから、その方が資格取得後も、その園で引き続き勤務することで、保育士が確保できると考えています。

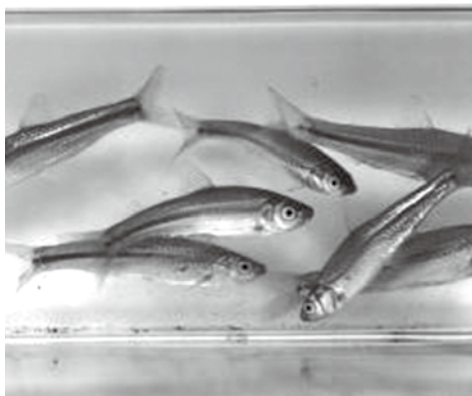
**問** スマート農業推進事業費が、令和3年度から大幅に減額となっている理由は。

**答** 令和3年度は、飼料米等の面積拡大の目的で、スマート農機の導入を希望する7名の農家の方に補助を行いました。令和4年度は、実際にスマート農機導入の効果について検証を行う年であること、また、主食用米の価格の下落対策に予算を振り分けたいとの理由で、予算額が減額となりました。

**問** 環境創造型農業推進事業費に関して、ふゆみずたんぼ米の生産と、ホンモロコ養殖の今後の方針は。

**答** ふゆみずたんぼ米については、草取り等に手がかかるという理由から生産者が減りつつあるため、有機農業推進協議会を設立し、ふゆみずたんぼ米に限定せず有機農業を推進していきたいと考えています。また、

ホンモロコ養殖については、現在養殖を行っている1名の農家に養殖場を増やす計画があることから、増加が見込めると考えています。



ホンモロコ

見直しの考えは。  
**答** ロブレビルリニューアル構想の見直しは行っていませんが、今後、外部委員を入れた会議を開催し、経営面、金融面でアドバースを受ける予定です。  
**意見** 今後ロブレビルリニューアル構想の見直しの際には、抜本的な見直しとなるようにしてもらいたい。



ロブレビル

プラン策定事業費に関して、プラン策定の進捗状況は。  
**答** 令和3年7月から8月にかけて、小山駅周辺地区の現況分析のため、まちづくりに関するアンケートを実施しました。また、アンケートで拾いきれなかった意見を広く市民から募るため、11月には市民参加型のワークショップを開催しました。令和3年度中に、地区の抱える課題を踏まえた市民意向を反映したプランの方向性を定める予定です。また、令和4年度は、まちづくりの方向性やワークショップでの要望や提案を整理しながら、令和4年度末のまちづくりプラン策定を目指します。

民間委託する豊田小学校のように、民間施設の利用を検討したのか。  
**答** 今回は既存のプール施設であり、部活動等でも利用していることから、改修工事を行うこととしました。他市町の事例を見ると、民間施設利用や相互利用が半数近くとなってきており、今後、学校統廃合や大規模改修を行う際には、より良い在り方を検討していきたいと考えています。

**問** 生涯学習懇話会運営費に関して、懇話会の構成員は。また、懇話会で審議した内容について、市民が確認できる機会は設けられるのか。  
**答** 懇話会の構成員は検討中ですが、社会教育委員や、生涯学習推進協議会、公民館運営審議会、青少年健全育成連絡協議会、議員等から選任し、20名以内と考えています。懇話会で審議した内容については、提言書を作っていたら、それを基に庁内で検討する予定であり、市民の皆さまにも広くお伝えしたいと考えています。

**問** 消防施設工事費に関して、今後の防火水槽の設置計画は。  
**答** 防火水槽が不足している地域の充足を図るため、設置について10カ年計画を立て、毎年度1基の新設を計画しており、要望のある地域から順次設置していく予定です。

**問** 地籍調査事業費に関して、地籍調査を、まちづくりをする場所だけでなく、市街化調整区域なども含めて進められないか。  
**答** 現在行っている栗宮の地籍調査は、令和6年度に最後の地区に着手します。令和4年度には、国土調査事業10箇年計画の選定指標を考慮した上で、新規地区を検討します。

**問** 商工団体支援事業費に関して、間々田商工会、小山市美田商工会、桑絹商工会が合併して小山市おもいがわ商工会となったことに伴い、補助金額に変動はあるのか。  
**答** 令和4年度の小山市おもいがわ商工会への補助金は、令和3年度の3商工会への補助金の合計額と同額としました。今後、事務所集約等の状況に応じ、補助額を検討していきます。

**問** ロブレ再生事業費に関して、ロブレビルリニューアル構想の

**問** 小山駅周辺地区まちづくり

**問** 小中学校の施設整備事業費

**問** スケートボード場整備事業

## 議会だより表紙写真募集

- あなたも「議会だより」に写真を投稿してみませんか。
- 写真は「議会だより」の発行月（1月・2月・5月・8月・11月）にあわせた小山市内の季節感のあるものを募集しています。  
あて先／小山市中央町1丁目1番地1号  
小山市議会事務局
- 詳しくは議会ホームページまたは議会事務局（☎ 22-9463）までお気軽に！



費に関して、スケートボード場の利用状況等の検証をどのように行うのか。

**答** スケートボードパークの整備場所は未定ですが、市の施設駐車場の空きスペースに、仮設フェンスおよび利用上のルールを明記した看板などを設置した上で、スケートボード場として利用していただき、安全性や利用者数等を検証したいと考えています。



### 市政一般質問の動画をご覧になれます。

各議員の顔写真の下の2次元コードをスマートフォン等で読み取ると、質問の動画をご覧いただけます。  
※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

## 市政を問う

### 2月定例会 市政一般質問

※発言順に掲載 ○は会派代表質問を行った議員

### 会派代表質問

#### 自民未来塾

荒井 寛 良平  
小川 亘 福田 洋一  
○篠崎 佳之 福田 幸平  
岡田 裕 高橋 栄  
渡邊 一郎



篠崎 佳之 議員



動画はこちら

#### 質問事項 ①令和4年度予算②

#### 新型コロナウイルス対策③危機

#### 管理④人口減少対策⑤令和4年

#### 度に施行される法律

**問** 新型コロナウイルス対策について、3回目のワクチン接種状況と小児を含めた今後の予定は。

#### 保健福祉部長

現在の接種券発送状況は、令和3年8月20日までに2回目接種が終わった方への発送が完了しています。3回目の接種体制については1、2回目と同様に個別接種および集団接種を行っています。なお、3回目の接種率は令和4年2月

16日時点で12歳以上の人口に対し約12%です。接種券は、令和3年11月までに2回目接種済の方へ、令和4年5月下旬に発送完了の見込みです。また、5歳から11歳の小児へのワクチン接種は、令和4年3月に接種開始できよう接種券発送に向けた準備を進めています。

**問** コロナ禍における危機管理について、各部署の業務継続計画BCPの状況は。

#### 副市長

市民生活等に関わりの深い部署で感染拡大が起きた場合、市民課窓口では戸籍の届出受理、住民異動、各種証明書の交付を優先的に行い、不足する職員は部内等から応援体制を取ること確保し、窓口業務の継続を図ります。消防本部では、業務継続計画に基づき緊急業務のみならず、消火・救助活動をはじめとした必要業務の継続を図ります。また、学校では、学校ごとに児童生徒や教員の感染状況等を確認した上で、教育活動が安全に行えるか判断し、状況に応じて、学年・学級閉鎖だけでなく、臨時休業も視野に入れ、適切に対応していきます。

市政会

小林 英恵 安藤 良子  
 大出 ハマ 植村 一  
 橋本 守行 ○嶋田 積男  
 渡辺 一男 細野 大樹



嶋田 積男 議員



動画はこちら

**質問事項** ①総合政策行政②都市交通行政③産業観光行政④教育行政⑤消防行政

**問** 学習用タブレット端末によるネットいじめ防止に向けたセキュリティ対策について伺う。

**教育長** ネットいじめを起さないためには、児童生徒の情報モラルを育成することはもちろん、いじめを許さない雰囲気醸成や人権尊重の意識を高めることが必要です。小山市はこれまで情報モラルに関する研修などを通じて、教職員の意識高揚を図ってきました。各学校では、教育活動全般を通じて、計画的、継続的にネットいじめにつながる具体的な場面を想定しながら

児童生徒への指導を行っています。また、タブレット端末を活用する際には、児童生徒一人ひとりのアカウント情報を管理し、なりすましなどを防止するほか、メッセージなどのやり取りは教職員の指導の下でのみ行うなど、適切に運用しています。

**問** 電子図書館導入についての考えを伺う。

**教育部長** 電子図書館は、いつでもどこでも本が借りられ、感染リスクがなく、窓口での貸し出しや返却などの手続きが不要で、破損や紛失の心配がなく、物理的なスペースの制約がないなど、多くのメリットがあります。一方、コンテンツの利用料が紙の書籍と比較して高価であること、ダウンロードして読むものではないため、図書館の蔵書にならないこと、利用の際にはスマートフォンが必要で、インターネットの常時接続環境が必須となるなどの課題もあります。これらのメリットや課題のほか、図書購入費の有効活用観点から費用対効果などを精査し、導入に向けた検討を進めていきます。

市民派21

山野井 孝 石島 政己  
 ○塚原 俊夫 青木美智子



塚原 俊夫 議員



動画はこちら

**質問事項** ①令和3年度小山市一般会計の決算見込み②令和4年度小山市一般会計の当初予算

**問** 令和3年度一般会計の歳入歳出決算見込みは、どのようなものか。

**総合政策部長** 令和3年度一般会計の最終予算額は、補正後予算額756億5000万円に、令和2年度からの繰越額41億9000万円を加えた798億4000万円と見込んでいます。この最終予算額に対して、歳入決算額が約745億円、歳出決算額が約720億円と見込まれ、歳入歳出差引額は25億円程度になると見込んでいます。

**問** 令和4年度一般会計の歳入歳出予算の特徴点とコロナ対策や地域経済の活性化策は、どの

ようなものか。

**総合政策部長** 令和4年度予算に計上した特徴的な事業としては、都市環境と田園環境の調和ある発展を目指し、持続可能なまちづくりに取り組むための田園環境都市ビジョン策定や、防災対策強化のための豊穂川・杣井木川流域の排水強化対策、道路・橋梁・公園・学校・保育所・消防署等の公共施設の修繕・耐震・長寿命化、行政手続きのオンライン化や官民連携によるデジタル化に取り組むデジタルトランスフォーメーション推進、大谷地区中心施設建設などが挙げられます。また、新型コロナウイルス感染症対策としては、令和3年度の繰越明許費において、3回目のワクチン接種に係る費用や検査費用補助など6事業の支援策の予算を計上しました。また、低所得者や中小事業者への支援策としては、生活困窮者自立支援金支給事業や住居確保給付金給付事業、虐待・貧困世帯小中学生等昼食支援事業、共通商品券発行事業などの支援策の予算を計上しました。

## 公明党議員会

○荒川美代子  
大平 拓史  
佐藤 忠博



荒川美代子  
議員



動画は  
こちら

**質問事項** ①令和4年度一般会計予算②成年年齢18歳引き下げ③孤独・孤立問題

**問** 一人暮らしや高齢者のみの世帯に貸与される緊急通報装置の設置要件の緩和内容は。

**保健福祉部長** 令和3年度まで、当事業の要件は固定電話回線があること、また、緊急時に迅速に状況を確認する協力を確保することが必要でしたが、携帯電話の普及や近隣住民、親戚等との関係性の希薄さから、要件を満たすことが困難な状況がたびたびありました。そこで令和4年度からは、固定電話回線がない場合、緊急通報のための携帯型端末および充電する装置の貸与が可能となりました。さらに、協力員の確保が困難な場合

に対応した駆けつけサービスを追加しました。

**問** 令和4年4月から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられる。懸念される消費者被害の防止対策が必要と思うが。

**市民生活部長** 成年年齢の引き下げに伴い、未成年者が親の同意を得ずに契約した場合に、契約を取り消すことができる未成年者取消権の対象も18歳未満に引き下げられることから、18歳、19歳の消費者被害の拡大が懸念されています。小山市では、契約に関する最新トラブル事例や、困った時の相談先の周知・啓発が重要と考え、出前講座、街頭啓発活動、各小・中・義務教育学校や白鷗大学新入生への啓発チラシの配布、市ホームページへの掲載や、ホームページのインフォマーシャルを活用した啓発などを実施しています。また、栃木県では、令和3年度に、県内の全小・義務教育学校5年生、全中学3年生、義務教育学校9年生および全高校生を対象とした成年年齢引き下げに関する啓発チラシを配布しました。

## おやま創生会

荻部 勉 ○森田 晃吉  
土方 美代



森田 晃吉  
議員



動画は  
こちら

**質問事項** ①災害対策②思川西部土地区画整理事業③家庭内暴力

**問** 豊穂川の橋の架け替えについて、3橋のうち大行寺橋の詳細について伺う。

**建設水道部長** 大行寺橋は、県道小山・結城線の新川橋から思川との合流点までの約450m区間について、豊穂川両側の用地取得の可能性や既存道路との接続、橋利用者の動線などの検討を行ったほか、自治会からの要望を考慮した結果、整備完了までの時間と費用が最小となる場所として、現在の橋と同じ位置への架け替えを行う方針としました。架け替えでは、豊穂川の築堤に伴い、橋の高さが上がることから、橋への取り付け道

路は斜路として整備を進めていきます。豊穂川左岸については、現況道路を利用した斜路の整備が可能ですが、右岸については豊穂川の河道拡幅に伴い、県道小山・結城線までの距離が短くなり、斜路の勾配が急になることから、勾配を緩くするため、豊穂川堤防沿いに下りてから県道へ接続する道路形状で整備を進めていきます。

**問** 家庭内暴力について、学校において直接保護者に口頭で啓発できないか。

**保健福祉部長** 学校には、各種行事で保護者が一堂に集まることから、市の子育て支援につながりにくい家庭に対しても啓発がしやすく、また、子どもの年齢に応じた細やかな啓発をすることが可能です。このようなことから、教育委員会および各学校と連携して、各種行事等の機会に啓発パンフレットの配布等を実施するとともに、今後、教育委員会と協議し、児童虐待防止に向けて、機会を捉えて注意喚起ができるよう検討していきます。

個人質問 (発言順に掲載)



青木美智子 議員



動画はこちら

**質問事項** ①子育て支援②災害対策③多様性を尊重し、だれもが自分らしく暮らせる社会

**問** 自治体が同性のカップルを、結婚に相当する関係と認め、婚姻証明書を発行するパートナーシップ制度を導入できないか。

**総務部長** 現在策定している第4次小山市人権施策推進基本計画では、性的マイノリティの人權を新たに分野別課題として加え、取り組む施策の一つにパートナーシップ宣誓制度の導入を掲げています。なお、性的マイノリティの方を取り巻く社会情勢は、日々変化しているため、当事者ニーズを反映し、同様の制度がある他自治体や今後導入予定の栃木県の制度内容について調査し、令和4年度中の導入を目標に進めていきます。



小川 巨 議員



動画はこちら

**質問事項** ①消防行政②教育行政③産業観光行政

**問** およまサマーフェスティバル2022「小山の花火」について伺う。

**産業観光部長** およまサマーフェスティバル2022については、第1回実行委員会のなかで、新型コロナウイルス感染状況の先行きが見えないため、観覧橋下流、思川河畔の1か所を会場とした開催は難しいとの意見を受け、昨年実施し、好評をいただいた分散型花火として実施することになりました。開催日時については、8月20日(土)、午後7時を予定し、打ち上げ場所および内容等の詳細については、今後各委員会で意見をいただき、決定してまいります。



安藤 良子 議員



動画はこちら

**質問事項** ①保健福祉行政②総務行政

**問** 感染症対策や災害医療対応等、新小山市病院が安定した医療を継続して提供できるように小山市の支援連携体制はあるか。

**副市長** 小山市は、地方独立行政法人法に基づく新小山市市民病院の設立団体であり、今後も新小山市市民病院が安定した医療を提供することが小山市の地域医療を守り育てる仕組みとして継続されるよう、引き続き連携強化に努めます。また、法人の運営経費のうち、救急医療や災害医療など地域への医療提供に必要な経費で、法人の収入を充てることが適当でない経費については、設立団体である小山市が負担することとされており、今後、総務省の操り出し基準による適正な負担を行うよう病院と十分な協議を行い、合理的な負担の在り方を検討します。



苅部 勉 議員



動画はこちら

**質問事項** ①田園環境都市ビジョン策定②渡良瀬遊水地③保育士の処遇④大谷地区中心施設

**問** 大谷地区中心施設の概要や他の中心施設と比較した特徴、建設スケジュール等について伺う。

**市民生活部長** 敷地面積は、施設、駐車場、多目的広場等の合計約2万4700㎡です。施設は、公民館、出張所、高齢者サポートセンター、学童保育、図書室などを複合化するとともに、多目的ホール、会議室、調理実習室、和室などを整備します。特徴としては、市民交流センターで初めての平屋建てとなり、誰でも利用しやすい施設になるとともに、災害時の避難所機能の充実を図るため、防災倉庫や災害配慮トイレ、かまどベンチを整備します。今後は、令和4年4月から工事に着手し、令和6年度に開設予定です。



大出 ハマ  
議員



動画は  
こちら

質問事項 ①土木行政②産業観  
光行政③保健福祉行政

問 豊穂川流域排水強化対策事業について、大日橋、大行寺橋、新川橋の架け替えの進捗状況および今後のスケジュールは。

市長 大日橋は、地質調査、橋梁・道路の詳細設計を進め、令和4年度に事業用地を取得します。大行寺橋は、現在と同じ位置に架け替えを行う方針とし、現在は地質調査、測量を進め、令和4年度に橋梁・道路の詳細設計、事業用地を取得します。新川橋は、栃木県と委託業務に関する基本協定を締結し、現在は測量、地質調査、橋梁・道路の詳細設計を進め、令和4年度に事業用地を取得します。いずれの橋も令和5年度から工事に着手し、豊穂川流域排水強化対策事業は、令和7年度に完了する予定です。



平野 正敏  
議員



動画は  
こちら

質問事項 ①保健福祉行政

問 住民税非課税世帯等への給付金給付事業について、家計急変世帯からの給付金申請の際の添付書類は何か。

保健福祉部長 家計急変世帯を対象とした給付金は、申請時に住民基本台帳に記録されている市町村に申請します。その際に、世帯全員の1年間の収入見込み額が住民税非課税水準に相当する額以下であることを確認するため、収入見込み額を記載する申立書に、令和3年分の確定申告書や源泉徴収票などの写し、任意の1カ月の給与明細書などの収入額が確認できる書類を添付していただきます。また、給付金の受け取り口座を確認するための通帳の写しや、世帯の状況を確認するための住民票の写しなども必要です。



大平 拓史  
議員



動画は  
こちら

質問事項 ①防災・減災②子ども  
の安全

問 保育所等における園外活動中の園児・保育士を交通事故などから守るため、キッズゾーンを設定すべきでは。

保健福祉部長 現在、市内保育施設における散歩などの園外活動は、より安全な散歩コースを選択し、複数の保育士が同行して安全確認や危険回避に配慮して実施しています。今後、より一層の事故防止の強化を図るため、先進自治体の状況を把握し、保育施設および道路管理者、警察などと協議の上、キッズゾーン※の設定を検討します。

※ キッズゾーン

保育施設周辺での園児等に対する注意意識の啓発、関係機関との安全対策の推進、および自動車運転手などに対する注意喚起を行うもの。原則として保育施設の周囲半径500mの範囲を設定し、看板設置や路面標示などを行う。



片山 照美  
議員



動画は  
こちら

質問事項 ①保健福祉行政②総  
合政策行政

問 公共施設等マネジメント推進計画において、「いきいきふれあいセンターみつわ」はどのような計画か。また、今後の場所は市が探してくれるのか。

保健福祉部長 「みつわ」は計画策定の際は、令和5年度に移転・売却する方針であり、令和4年度に建物の解体等を見込むことから、使用期限を令和3年度末までとしていました。しかし、コロナ禍で「みつわ」の活動が休止し、移転先について十分な協議がされないまま使用期限を迎えたため、「みつわ」を利用する3自治会の会長から、連名で市長に陳情書が提出されたことから、令和4年度末までの使用を許可しました。令和5年度からの移転先については、「みつわ」の役員の方々と協力しながら積極的に検討します。

議会改革推進協議会を設置

令和3年12月23日、議長の諮問に応じ、住民自治の実現のために積極的に議会活動を行うとともに、議会の活性化を推進していくため、議長を除く議員29名を委員とする「議会改革推進協議会」を設置しました。議長により、会長に橋本守行議員、副会長に荒井寛議員が指名され、その後、議会運営および議会のICT化について諮問が行われました。これを受けて、諮問事項について検討するため、令和4年2月2日には、それぞれ14名の議員で構成される「議会運営検討専門部会」および「議会ICT化検討専門部会」を設置しました。



橋本会長（左）へ  
諮問書を手渡す福田議長（右）

議会日誌

- 1月 議員説明会
- 17日 市執行部との定例懇談会／議会改革推進協議会理事会
- 21日 議員説明会／議会運営委員会
- 25日 議員説明会／議会運営委員会
- 27日 議員説明会／議会改革推進協議会
- 2月 議員説明会／議会改革推進協議会
- 10日 議会運営委員会／会派代表者会議
- 17日 議会広報委員会／議会運営委員会

- 24日 議会運営委員会／議会報告会運営委員会
- 25日 議会ICT化検討専門部会
- 3月 建設水道常任委員会
- 1日 教育経済常任委員会
- 2日 民生常任委員会
- 3日 総務常任委員会
- 4日 予算審査常任委員会
- 7日 予算審査常任委員会／会派代表者会議
- 8日 議会運営委員会／公共施設等整備調査特別委員会／小山駅周辺都市整備対策特別委員会
- 4月 会派代表者会議
- 5日 議会広報委員会
- 11日

次回定例会の予定

6月2日(木)	本会議 (開会・議案上程)
6月6日(月)	本会議 (一般質問)
6月7日(火)	本会議 (一般質問)
6月8日(水)	本会議 (一般質問)
6月9日(木)	本会議 (一般質問・付託)
6月13日(月)	委員会
6月14日(火)	委員会
6月15日(水)	委員会
6月16日(木)	委員会
6月17日(金)	委員会
6月27日(月)	本会議 (採決・閉会)

※正式な日程および傍聴は、後日開催する議会運営委員会にて決定します。決定後、小山市議会ホームページでお知らせします。



本会議については、ケーブルテレビおよびインターネットでもご覧いただけます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に、ご協力をお願いいたします。



2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻しました。小山市議会もロシアに対する非難決議を採択しましたが、現在も戦禍に巻き込まれて苦しんでいるウクライナ国民の皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、戦禍でお亡くなりになった方々に対して深い哀悼の意を表します。

今回の戦争は、私たちの享受する平和や民主主義というものが、実はいかに脆いものかを明らかにしたように思います。小山市議会議員という民主主義の一翼を担う者として、今回のウクライナ侵攻は民主主義の大切さ・重要性を実感させられる出来事でした。現在、地方議員の担い手不足が叫ばれています。これもまた民主主義の危機です。日本の民主主義が今後とも発展していくためには、私も議員の努力とともに、市民の皆さまのお力添えが必要です。市議会議員一同、今後とも小山市政のため努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

(細野)